

問1	17世紀から18世紀にかけて、イギリスの思想家であるロックは、国家は個人の権利を守るための契約によって成立したという「社会契約説」を唱えました。彼が著書『市民政府二論（統治二論）』の中で主張し、その後のアメリカ独立宣言などにも強い影響を与えた考え方はどれですか。 （2025年 宮城県公立入試 類似）			
	1. 政府が国民の信頼に背いて権利を侵害した場合、国民は政府を代えることができるという抵抗権	2. 国家の権力を立法・行政・司法の三つに分け、互いに抑制し合い均衡を保つべきだという三権分立	3. 私有財産を否定し、生産手段を共有することで平等な社会を実現しようとする社会主義思想	4. 直接民主制を理想とし、共同体の一般意志に基づいて政治を行うべきだとする人民主権論
問2	織田信長の行動を年代順に並べたとき、1560年の「桶狭間の戦い」よりも後で、1577年の「安土の城下町での楽市令」よりも前の時期に行われた出来事として、正しいものはどれですか。 （2019年 山形県公立入試 類似）			
	1. キリスト教の布教を許可し、南蛮貿易を奨励した。	2. 鉄砲を組織的に利用し、長篠の戦いで武田軍を破った。	3. 明智光秀の謀反により、本能寺で自害した。	4. 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。
問3	美術史上の資料において、厳格な儀式を描いた古代エジプトの壁画や、ナポレオンを英雄として描いた19世紀の騎馬像などに対し、14世紀から16世紀のルネサンス期の芸術作品には「人間中心主義（ヒューマニズム）」という特徴が見られます。この背景にある当時の社会の変化として、最も適切な説明を選んでください。 （2025年 茨城県公立入試 類似）			
	1. フランス革命によって身分制社会が崩壊し、市民が主体となった自由な芸術表現が国家によって推奨された。	2. 十字軍の遠征などを経て教会の権威が揺らぎ、人々の関心が神の世界から現実の人間社会へと移り変わった。	3. 産業革命が進展して都市労働者が増加したことで、個人の権利や平等を求める民主主義の運動が活発化した。	4. モンゴル帝国の拡大によって東西交流が盛んになり、イスラム世界の数学や科学がヨーロッパに直接流入した。
問4	豊臣秀吉が発令した「総無事令」の背景とその仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2022年 香川県公立入試 類似）			
	1. 兵農分離を進める背景として、農民から刀や弓などの武器を没収し、一揆を防止するとともに身分制度を確立させた。	2. 安土城の築城を背景に、信長が実施した楽市・楽座を引き継ぎ、商工業の自由化を全国に広めることを目的とした。	3. 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。	4. 江戸幕府の成立を背景に、将軍が大名に対して参勤交代を義務付け、反乱の芽を摘み取るための基本法とした。
問5	豊臣秀吉に重用された千利休が完成させた「わび茶」の説明として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 長野県公立入試 類似）			
	1. 書院造の広大な部屋で、身分の上下を厳格に区別しながら大規模な茶会を催す形式。	2. 大陸から伝わった水墨画の技法を取り入れ、茶室の壁面に自然の風景を再現することを目指した形式。	3. 豪華な金箔や高価な中国製の器を誇示するのではなく、簡素で静かな佇まいの中に美しさを見出すスタイル。	4. 禅宗の教えを基にしながらも、能楽や狂言と組み合わせることで将軍の御所などで披露された芸能。
問6	1588年に豊臣秀吉が出した法令では、農民から刀、脇指、弓、槍、鉄砲などの武器を没収することが命じられました。太閤検地とともに進められたこの政策の主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2021年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 武士と農民の身分を明確に区別し、一揆を防いで社会を安定させること	2. 外国からの侵略に備えるため、全国から鉄資源を回収して軍備を近代化すること	3. 没収した武器を溶かして大仏を造り、宗教の力だけで民衆を支配すること	4. 地方の有力な大名から武力を奪い、織田信長以来の中央集権体制を完成させること
問7	豊臣秀吉が実施した「太閤検地」によって確立された、土地の生産力を米の収穫量で換算して表す仕組みを何といいますか。 （2026年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 地租改正	2. 班田収授法	3. 石高制	4. 貴高制
問8	16世紀の日本に鉄砲やキリスト教が伝来した歴史的背景について、当時のヨーロッパの動きと関連づけた説明として最も適切なものはどれですか。 （2024年 富山県公立入試 類似）			
	1. 国王の権力を制限する市民革命が起こり、自由な商活動を求めた欧州の商人が日本を訪れるようになった。	2. 蒸気機関の改良によって交通機関が発達し、大量の物資を運ぶために欧州人が日本との貿易を求めた。	3. カトリック教会が免罪符を販売したことに反発し、新しい教えを広めるために宣教師が日本へ派遣された。	4. 文化復興運動によって科学技術が発展し、遠洋航海が可能になったことで、欧州人がアジアへ進出した。
問9	室町時代には、貴族や寺社に税を納める代わりに、商品の販売を独占する特権を得た「座」という商工業者の組織が活動していました。織田信長が安土城の下で行った、この「座」の特権を廃止し、税や労役を免除することで城下町の活発化を図った政策を何といいますか。 （2022年 長野県公立入試 類似）			
	1. 分国法	2. 刀狩	3. 楽市・楽座	4. 検地
問10	平安時代から安土桃山時代にかけて、日本は海外から新しい宗教や文化を取り入れ、独自の発展を遂げました。次の4つの人物や出来事について、それらが行われた、あるいは活躍した時期が古い順に正しく並んでいるものはどれですか。 ・唐に渡り密教を学び、帰国後に真言宗をひらいた空海 ・宋に渡り、修行の重んじられる禅宗（臨済宗）を伝えた栄西 ・明へ渡り、大陸の画法を学んで水墨画を大成させた雪舟 ・九州のキリシタン大名らによってローマ教皇のもとへ派遣された天正遣欧使節 （2016年 山口県公立入試 類似）			
	1. 空海 → 雪舟 → 栄西 → 天正遣欧使節	2. 栄西 → 雪舟 → 空海 → 天正遣欧使節	3. 栄西 → 空海 → 雪舟 → 天正遣欧使節	4. 空海 → 栄西 → 雪舟 → 天正遣欧使節
問11	大航海時代において、ポルトガルがアフリカ大陸南端を回るインド航路を開拓しようとした背景と目的として、最も適切なものはどれか。 （2026年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. アメリカ大陸にある銀山を支配下に置き、大量の銀を調達するため	2. シルクロードを通る陸上貿易を強化し、アジアの特産品を輸入するため	3. イスラム勢力などの仲介を通さず、香辛料を安く直接手に入れるため	4. 大西洋を西回りに進むことで、地球が球体であることを証明するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 政府が国民の信頼に背いて権利を侵害した場合、国民は政府を代えることができるという抵抗権	ロックは、人間は生まれながらにして生命、自由、財産などの「自然権」を持っていると考え、これらを守るために人々の契約によって政府が組織されたと説きました。もし政府がこの契約に反して国民の権利を侵害した場合には、国民には政府を組織し直す「抵抗権（革命権）」があるという彼の主張は、イギリスの名誉革命を正当化し、アメリカの独立宣言やフランス人権宣言といった近代の市民革命に決定的な影響を与えました。
問2	答え 4 将軍の足利義昭を京都から追放し、室町幕府を滅亡させた。	室町幕府の滅亡は1573年の出来事であり、桶狭間の戦い（1560年）と楽市令（1577年）の間に位置します。長篠の戦いは1575年、本能寺の変は1582年の出来事です。信長の勢力拡大の過程において、将軍の追放は旧来の権威を否定し、天下統一を推し進める大きな転換点となりました。
問3	答え 2 十字軍の遠征などを経て教会の権威が揺らぎ、人々の関心が神の世界から現実の人間社会へと移り変わった。	中世ヨーロッパはキリスト教の影響力が極めて強い社会でしたが、十字軍の失敗や都市の発展、さらにはペストの流行などにより、教会の絶対的な権威が低下しました。これに伴い、人々の価値観は「神」から「人間」へと転換し、古典文化に学ぶとするルネサンスの動きが加速しました。
問4	答え 3 関白の権威を背景に、大名間の領土問題を秀吉の裁定にゆだねさせ、私戦を続ける者を武力で討伐する根拠とした。	それまでの戦国大名は「自力救済（自分の力で問題を解決すること）」が原則でしたが、秀吉はこの法令によって紛争の裁定権を自分（豊臣政権）に一歩化しようとした。これに従わなかった九州の島津氏や関東の後北条氏を討伐することで、秀吉は武力と法制度の両面から全国支配を完成させました。
問5	答え 3 豪華な金箔や高価な中国製の器を誇示するのではなく、簡素で静かな佇まいの中に美しさを見出すスタイル。	「わび茶」は、村田珠光や武野紹鷗らによって始められ、千利休によって完成されました。それまでの華やかな装飾を排し、あえて不足や不完全なものの中に深い精神性や美しさを感じ取ることを重視しました。秀吉の「黄金の茶室」に象徴される豪華絢爛な桃山文化とは対照的な、内省的な文化の側面を象徴しています。
問6	答え 1 武士と農民の身分を明確に区別し、一揆を防いで社会を安定させること	豊臣秀吉は、農民から武器を没収する「刀狩」を行うことで、農民による一揆を未然に防ごうとしました。これに加えて、土地の生産力を調査して耕作者を確定させる「太閤検地」を並行して実施しました。これらの政策を通じて、武士は城下町に住み、農民は村で農業に専念するという「兵農分離」が推し進められ、江戸時代へと続く近世の身分制度の基礎が築かれました。
問7	答え 3 石高制	太閤検地では、全国で統一された「ものさし」や「升」を使用し、土地の面積や等級に基づいて予想される収穫量を「石高（こくだか）」として登録しました。これにより、農民に課す年貢の量や、大名に課す軍役（軍事的な負担）の基準が明確になり、近世的な支配体制が整いました。
問8	答え 4 文化復興運動によって科学技術が発展し、遠洋航海が可能になったことで、欧州人がアジアへ進出した。	ルネサンスによる科学技術の向上が大航海時代を支える基礎となりました。これによりポルトガル人やスペイン人がアジアへ進出し、その過程で種子島への鉄砲伝来や、フランシスコ・ザビエルによるキリスト教布教が実現しました。他の選択肢は、それぞれ産業革命、市民革命、宗教改革の内容であり、時期や直接的な背景が異なります。
問9	答え 3 楽市・楽座	戦国時代以前は「座」と呼ばれる同族組織が特定の商品の販売権を独占していましたが、織田信長はこの独占を禁止しました。商工業者が自由に商売を行える環境を整えることで、各地から商人を呼び寄せ、城下町の経済的な発展と軍事的な安定を目指したのがこの政策の目的です。
問10	答え 4 空海 → 栄西 → 雪舟 → 天正遣欧使節	空海は9世紀初めの平安時代初期に唐へ渡り、帰国後に高野山で真言宗をひらきました。栄西は12世紀末の鎌倉時代初期に宋から禅宗（臨済宗）を伝え、これが後の武家文化に大きな影響を与えました。雪舟は15世紀の室町時代に明で水墨画を学び、日本の水墨画を独自の芸術として確立させました。天正遣欧使節は、16世紀後半の安土桃山時代にイエズス会の勧めを受けたキリシタン大名によって派遣されたものです。したがって、平安、鎌倉、室町、安土桃山の時代順に並べるのが正解です。
問11	答え 3 イスラム勢力などの仲介を通さず、香辛料を安く直接手に入れるため	当時、コショウなどの香辛料は肉の保存や薬用としてヨーロッパで極めて高い需要がありましたが、イスラム商人とベネチアなどの商人によって仲介されるため、非常に高価でした。ポルトガルは自国の船で直接インドへ向かうルートを確立することで、この仲介手数料を省き、貿易の利益を独占しようと考えました。